分子科学研究所運営会議（第５２回）議事要旨(案)

日　時　　令和７年２月６日（木）９時００分～１１時５０分（ハイブリットによる開催）
場　所　　岡崎統合事務センター棟３階　第一会議室，各委員の研究室等
出席者　　秋山，飯野（議長），岩佐（副議長），魚住，江原，岡本，解良，齊藤，杉野目，高橋（啓），高橋（聡），唯，菱川，廣田，松井，真船，山内，山本，横山，吉澤の各運営会議委員
列席者　　渡辺所長
　　加藤教授
　　繁政技術推進部長，成瀬岡崎統合事務センター長ほか関係事務職員

議事に先立ち，新しく着任された松井委員及び所長から挨拶があった。

議　事

１　前回議事要旨の承認について
原案どおり承認した。

２　報告事項
(1) 令和７年度予算の内示について
所長から，資料２に基づき，分子科学研究所に関連する令和７年度概算要求事項に関し，現時点における予算内示の状況について報告があった。

(2) 研究所等の現況について
所長，魚住委員及び飯野委員から，資料３－１から資料３－８に基づき，2024年4月26日以降の研究教育職員等の人事異動，共同利用研究等の実施状況，受託研究の受入れ状況，共同研究の受入れ状況，令和６年度科学研究費助成事業の内定状況，総合研究大学院大学先端学術院分子科学コース現況，岡崎共通研究施設及び生命創成探究センター（機構直轄研究施設）の構成等について報告があった。

(3) 令和７年度客員教授・客員准教授について
所長から，資料４に基づき，令和７年度分子科学研究所客員教授・客員准教授について報告があった。

(4) UVSORの現状と将来について
解良委員から，資料５及び事前に送付したパンフレットに基づき，UVSORの現状，今後の計画について報告があった。

３　審議事項

(1) 分子科学研究所名誉教授について

所長から，令和７年３月３１日をもって定年退職となる青野重利教授に自然科学研究機構分子科学研究所名誉教授の称号を授与することについて，機構長に推薦したい旨の提案があった後，人事労務課長から，資料６に基づき，関係規程等の説明があった。次いで，所長から，回収資料１に基づき，青野重利教授の略歴及び研究業績の説明があり，審議の結果，これを承認した。

（議事が所長選考となるため，あいさつの後，所長は退席し、事務職員（関係事務職員除く）も退席した。）

(2) 所長候補者の選考について

議長から，渡辺芳人所長が２０２６年３月３１日をもって任期が満了することに伴い，大学共同利用機関法人自然科学研究機構大学共同利用機関長（分子科学研究所長）選考委員会委員長からの依頼に先立ち，所長候補者の選考を開始したいとの発言があった。

次いで，総務課長から，資料７－１，資料７-２，資料７－３及び資料７－４に基づき，所長候補者の選考に関する関係規程及び選考手続等について説明があった。

これらの説明に基づき，議長から，「分子科学研究所所長候補者推薦手続きに関する申合せ（平成１８年８月１４日分子科学研究所運営会議決定（最終改正平成３１年２月１５日））」により，運営会議（第１回）における候補者の選考を行うことの提案があり，審議の結果，これを承認した。

（以降の候補者に係る意見交換時に，関係事務職員は一時退席し、その後再度入室した。）

議長から，回収資料（所長選考関係）に基づき，１月２８日(火)を回答期限として候補者のリストアップのための推薦を行った結果，８名の推薦があったことの報告があった。引き続き，出席した運営会議委員による候補者の追加に関して確認を行ったところ，１名の追加候補があった。引き続き，各候補者に係る意見交換を行った上で，同申合せ第６により，リストアップされた９名を対象に５名完全連記による無記名投票を行った。この結果，５名の候補者を選出した。次に、同申合せ第６の（４）の定めるところに従い，教授会議で挙げられた候補者を加え，所長候補者名簿を確定した。

引き続き，議長から，所長候補者選考委員会の委員については，同申合せ第６により，議長が運営会議の同意を得て指名することとなっているが，投票（所内，所外それぞれ６名連記投票）で選出したいことの提案があり，審議の結果，これを了承し，１２名を選出した。

また，議長から，委員に欠員が出た場合の補欠については専門分野を考慮して、議長が指名する事を提案し，承認された。

以　上